

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	業務管理の担当等を任すことにより責任感とやる気が持てるようになる。	①人事考課・自己評価表を用い、自身の力量を把握すると共に新たな課題発見と解決ができる ②業務管理担当者を決めて、各自が担当した業務について管理ができリスク回避ができるようになる。 ③研修計画を立て、それぞれの意欲を高めると共に知識と技術の向上を図る。 ④参加した研修については、伝達研修の場を設け学んだ知識と技術を整理して発表する力をつける	12ヶ月
2	25	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	行事や日課についてスケジュールを把握し準備等を職員と一緒にを行うことで、お互いに協力することができ支え合う関係が築ける。	①入居者の方に行事や予定等を伝えスケジュールの理解を得る ②入居者の方に明日の予定や献立をホワイトボードに板書してもらい、段取りの理解を得る。 ②予定された行事の段取りや準備を手伝ってもらう ③行事に参加するだけでなく職員と共に協力して成功したことを喜び達成感を得ることができる	6ヶ月
3	21	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族様と職員と一緒に話し合い、より良く暮らすための介護計画を作成し、それぞれの立場で協力を行う	①本人や家族様及び職員の思いや意見が反映できる仕組みの個別援助計画書を作成する ②ケア実施後の状況を毎月家族様に報告すると共に、目標達成に向けての修正や新たな課題があるか検討する。 ③毎月のフロアー会議で、モニタリング状況を報告し現状を共有する ④フロアー全体で目標解決に取り組む	12ヶ月
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。